磐城新聞

（二十六日夕刊）

休刊 大祭日 第一第三日曜
定價 一部二錢 一ケ月六十錢 郵稅十五錢
廣告料 一行六十錢 指定倍額
發行兼編輯印刷人 [illegible]沼龍朗
福島縣平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話五大四番

平の映畫界（毎土曜日掲載）

根本邦夫氏に詫びて

たけし。ふくだ

先週この映畫欄に「與太者」と題して私、有發座改革を加味した。少しく藥屋的色情に走りすぎた事が書き並べました。

有發座改革に付いて書いたことはいゝとして、人身攻擊に讃入して、根本邦夫氏、高田雅美氏を不面目な人だなどと、罵言を浴びせ掛けたことは、私として餘りにも輕卒な行爲と自覺して恥じた次第です。根本氏は有發座に於ても眞面目に樂道にいそしんでたりピアニストとして又各小學校に於て唱歌の教鞭をとつたこともあり、又現在ツボミ音樂研究會を組織して、石城の音樂發展を計り有望な音樂家を發成してゐるその先生に對して、私の曲解よりあのやうな扼辨をつかつた責を明かにすると同時に、根本高田兩氏及諸氏に御了承下さるやうお願いする次第です（一九三〇 四、二五夜）

「チエリマキノの金森監督は、そこで姉妹篇「鴨川小唄」を作る事になつた。例によつて原作者長田氏の小唄が入る

×

これも先頭を映の「母」で大いに儲けた蒲田が、野村芳亭監督にもう一度作らせて居る「繼母」のロケは立川飛行場で行はれたが、飛行機と列車の平行撮影と云ふ離れ業を演じた。又大いに受ければ結構だ

×

マキノの澤村國太郎は往年バ社特作として輸入されファンを熱狂させた「キックイシ」の翻案三尺物「光を求めて」を作り始めた。

×

文筑八が組織した日本キネマの第一回作品、武羅夫原作「昨日の薔薇」には水木時江、山村富士子が出演、監督は岡田三郎氏が一日四食主義の大奮闘でやうやく出來より、近く封切る

×

帝キネで、かのふんどしを諸兄の前でひらかせた百々ちやん、獨立して、その第一回作品はまけてびつくり、笹尾純一郎脚色の「劍戟から生れた金色夜叉」と極まつたが、今、百々ちやんは貫一、久野あかねのお宮で森本監督の手で製作中た

×

蒲田でパットしなかつた市村愛子孃は今度百々之助プロへ行きました、今度こそ賣り出すつもり

×

帝キネの松本田三郎、チブスで大阪赤十字病院に入院中、快方に向つたさう

×

傳次郎は今度「新版大岡政談」の完成の上、敵役正か當てた金子洋文氏作「浪人の群」と決定、準備に入つた脚色は八尋諒氏監督は渡邊邦男氏が當る

×

東亞で羅門光三郎主演で製作する筈となつて居た「浪人の群」は日活と假然競映戰と云ふ事になつた譯

×

日活の村田監督は牧逸馬作の「この太陽」が次回作品として作られる、近代理性に富む女主人公に意志の弱いブル青年、洋行歸りフッパー等をからめた物で例によつて日活現代劇部オールスターキャストとある

常設館便り

平館 三十一日より（來週）林長の「月形半平太」淺岡、夏川、瀧花の「非常警戒」光岡の「貝殼一平」第一二篇

×

先達て有發座で上映された「祇園」小唄で味をやつた

暦日の図

新暦 四月二十七日　舊暦 三月二十九日

▲一白の人 一雜來る毎に英氣をますやうに勵むべき▲二黑の人 競爭的に出るは失敗の因飯食を注意すべし▲三碧の人 進むべき位置にゐながら引立の緣に薄き日▲四綠の人 運氣はいやらぬ日怠て進むこと宜しからず▲五黃の人 心中動搖して迷ひを生ずれば運氣傾くべし▲六白の人 小流れも集れば末は大河となるを忘るゝな▲七赤の人 大運次第に廻り來る機を逸せぬ樣にすべし▲八白の人 脇目正しく辛苦に屈せず街宿の時を待つべし▲九紫の人 愁眉を開き來る然れど油斷すれば又塞がる

講談

幕末奇傑 高山彦九郎 (121)

中西伊之助作　渡邊要畫

二人の女（二）

勿論史實に傳はつてゐるように彦九郎は色白の男美こいふ型ではありませんでした。或史家の説では寧ろ美男といふよりは、醜男といふ方に近いといふことですがそれはしばらく問ひません。

が、少くもお光の心には彦九郎のその魁偉なまでに雄々しい容貌は生白い色男型の美男よりはずつと美しく、頼もしく見わたに違ひい。殊に、あのた顔の陰にひそむなんとも言へない氣品の高さ、旦那さまはあの眞弓さまや奥さまになさるのではないだらうか。

ありません。さればこそ、眞弓の問ひ「氣立ての如くふさしい顔の人だと答へたのです。がその夜、高山家を辭して、寄宿してゐる甚作の家へ歸つて來ると急に言ひ知れぬ寂しさがわたそひかゝつて參りました。

――妾は、旦那さまのお側に一生仕へてゐたい。けれど妾のように身分いやしい水飲百姓の娘があのように由緒正しい高山樣のお家へ入れるだらうか。さうした不安が云ひ知れず彼女の弱い心をおびやかすのでした。

――それに、妾にくらべればあの眞弓さまは、由緒正しいお武家さまのお孃さま、たとへお眼は見えられずとも、私よりどんなに美しくいらつしやるか知れないはしたない嫉妬などすまいとは思ふのでしたが、う思ふと云ひ知れづねたましく腹立たしくなつて參ります。さうしてそれに尾をひいてたまらない悲しさが心に暗くおそひかゝつて來るのでした。

――あ、あ、あたしはどうしたらよいのだらう。

お光はやるせなく吐息をもらす許りでした。

「お光」それを不審げにみやつて、甚作は聲をかけました。

「なにを吐息などついてゐるのだまた何か、旦那さまに叱られでもしたのか」

「いゝえ」小さくから答へましたがその思ひをかき亂されるのがいやさにお光は口數少く默つて了ひました

「いゝねつて、おかしいぢやないか。さつきから溜息ばかりついてゐて……」

「ほんとうにお光ちやんはこの頃どうかしてゐるんですよ」おとせもさういつて口を挿みました

「旦那さまのところから歸つて來ると、きまつて溜息ばかりしてゐるんだもの…

お光は。おとせのその言葉に、流石にちらりと頰の赤く染まるのを覺わました

「あら、姉さんそんなことはありませんわ。妾……」

「いゝえ、ないことはありませんよ」おとせはもう今日此頃では甚作との間のうたがひもすつきり解いて了つて――昔の樣に、よい從姉となつて身寄りの少い氣の弱いお光になにかと味方になつてやつてゐるのでした

「お光ちやんのその溜息は普通の溜息ぢやない。きつとお光ちやんは旦那さまに思ひを運んでゐるんだよ」

「あら、姉さん。そんな…」

お光は、ほつと頰を染めて、俯向いて了ひました

「なに。〳〵」甚作は聞きすてならぬといふ樣にせき込んでたづねました

「それは初耳だ、お光。それはほんとうなのかい」

平の夜景（上）

平五・いつつ尙文

一、霧はわく〳〵江筋の水に
一夜情けの鎌田は見わす
降るは涙か　春雨
デモ素敵よ　平の夜に

二、雨はし〳〵　蛇　月に踊る
二人なら〳〵で　シネマを見れば
戀を歌ふか　ジャヅの音
デモ素敵よ　平の夜は

三、雨は上つて　尼子の橋に
語り合ふ夜の　櫻は散れて
月はほゝゑむ　月見橋
デモ素敵よ　平の夜は

四、月は朧に　色まちつゞき
戀の三味の音　窓かく流れ
逢ひ狀かく妓の　かげゝる
デモ素敵よ　平の夜が

『春』

堀川八重子

あくびするその時々に
めにうかぶ
涙に似たるわけもなき心

○

うら山　根畑にふる雪
解けて消ゆる
春の朝かな――

○

心憂き雨ふる宵の重たさを
持てあましたる
かなしくもあるか！

○

笑ひ顏の子供の如くあどけなき
彼の人なりき
病めばはかなし

○

何かこう
呼びかけてみたく思ふ日の
心和みを欲しとも思へり

『彼を唄ふ』

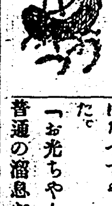
植田　渡邊芳勝

あんたの心はうれしきもの
其の美しき白き手は
僕の肩に載せる手よ
あんたの心はうれしきもの
其の紅い口唇は
僕の耳に寄せる口
あんたの情はうれしきもの
愛の答を此の僕に
ばら一輪で言つて來る
あんたの誘はうれしきもの
踊りの相手は色白の
なんとやさしい彼の女だらう

『初夏の夜』

植田　渡邊芳勝

今宵も月は朧か淡曇
弱い月光は地上になげて
草木は靜かにねむつてる
川の面きら〳〵と
光り輝く小波は
我が運命の如くゆらゆらと
そよ〳〵と吹く初夏の風
若葉のにほひかんばしく
暗を通して蛙の聲にぎはしい。



ハムよりうまい　鹽豚販賣　田町　三二三屋

芳醇無比　白馬の雪　松本德一　吟釀　平電話七五二

廣告　平町南町　大和田醫院　電話一七〇番

大販賣店　平町五丁目角　山野邊藥局

夜間診察

胃腸　梅毒

內科　十二指腸虫病　專門　內科部

淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部

松村胃腸病科醫院（平南町電話一〇七番）

創業廣告

今般時代の趨勢に鑑み合資會社高橋商會を創業いたし左記營業種目に依り親切第一主義を以て營業致す事と相成り候間何卒御利用御渦命の程御願ひ申上候

營業種目……燃料、木材、金融、仲立

平町白銀町一一　合資會社　高橋商會　電話六三八

代表者　高橋龜松

貸切は昭和タク　高級車グラハムペーヂ

乘心地のよい事は請合是非一度だけ御試乘を

昭和タクシー　電話三四三　サシミ

賣廉大計時腕始開期學新

四月一日より廿日間

◎學生向……落しても狂はぬ　安心してお持になれる　トキワヤの時計

特賣品

クローム側 8形 ス井ス製アンクル 寶石十五個入腕時計…7・80より

クローム側 10形 ス井ス製アンクル 寶石入腕時計…… 7・25より

大特價品

クーロム側10形スヰス製腕時計 ……全部絕對保險付 4・10

平壹　常盤屋時計店

營業種目

內地材　材木各種、羽柄材各種、建築諸材、諸官、鑛山用坑木其他諸材、諸官

外材部　米松、米杉、大角製材、請負其他

㊄ 佐藤材木店　常磐線平町新川町　電話三三五番

特價分讓

純英國セッター種仔犬數頭

兩親共輸入犬（父 ペニー、オーモン號昨年十二月北米ヨリ輸入　母 センチトンタル、マリー號昭和三年加奈陀ヨリ輸入）

昭和四年の全國畜犬共進會に於て最高名譽賞受領母親共に當地にあり、御希望の方は是非御一覽を乞ふ

申込所　四倉町本町七一　磐城新聞四倉支局內

專門　內科一般

內科ハ何デモ診療致シマス　呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五　川井內科診療所　電話七二二番

醫學士　川井重之　女醫　川井安子

三春の行樂麗らかなお裝ひに!!!

御用命は何卒三井へ

京御召　錦紗小紋　羽二重帶側
本セル　銘仙　着尺モスリン

時節品豊富取揃へて御座います

三井吳服店

平町東部發展策に 三線の道路新設
新川の下流に遊覧道路
區長連署で陳情

平町の東部（六丁目、鎌田方面）は從來地理的關係から容易に發展せなかつたが第三小學校の新設により六丁目裏一面の田甫は將來商店街として又住宅地として有望なものあり是非とも其の發展策を講せねばならぬと新川町堤の内、六丁目、鎌田の四區區長は二十六日連名を以て平町役場に對し同方部に道路新設の陳情請願書を提出した、陳情の趣旨によると

六丁目木村醫院脇を受谷江に添ふて新川まで又た新川町の中央を貫く大町通りの道路を鎌田町まで延長し更らに月見橋から新川淵の北側へ遊覧道路を鎌田遊廓まで

以上四間幅九百七十間の道路を新設して欲しいとの事であるが之れが出來れば新川淵の遊覧道路には櫻を植栽し將來松ケ岡公園の櫻を鎌田まで延長し大いに遊客の足を引く一方此の三條の道路が完成すれば第三小學校附近は直ちに商店街や住宅地が出來て立ち所に發展するだろうと云ふ法寸である

石城郡下の 優良運轉手
協會より表彰さる

本縣自動車協會第一回總會は二十六日午前九時より郡山市公會堂に於て開催、指示、注意、協議事項左の如くにして當日は優良自動車運轉手の表彰式を擧行したが石城郡下の分左の如し

（植田）渡邊重三郎方鈴木勝見△同磯上重忠△同渡邊重三郎方堀川清（四倉）豐田美孝△同酒井藤松（平）鈴木稻美方荒谷福次郎△同磐城炭礦株式會社方田中和一郎△同吉田直之助方松本信治△同松本方安田昌勝

植田局に現はれた 郡南の諸事相
貯金の拂出しも相當多く
取扱は年々增加

石城郡植田町郵便局四年度統計を見れば通常郵便物引受總數四十三萬三千六百六十九通であり、區域とする植田、山田、錦の一町二ケ村人口が一萬二千五百九十五人であるから一人で一ケ年卅四通以上宛依賴する事になる、配達總數が五十五萬八千〇八十一通で同じく一町二ケ村の戸數が二萬七千七百七十二戸であるから一戸當り二百三十五通以上配達されてゐる、小包引受か四千二百六十八個で植田驛の小荷物發送の六千七百五十七個と必敵し配達の七千五百三十四個は同じ驛の小荷物到着九千百三十八個には及ばない緊縮節約貯金だと貯金預け入の口數は一萬〇六百四十口で其金額十九萬七千八百十四圓五十五錢であるが不況のため餘儀なく拂戻しをした口數が四千六百〇五口で金額が十九萬三千六百四十圓三十二錢中央に集中されると思ふ貯金も大したものでもない國家に功勞あつた軍人官吏の恩給年金の拂渡は口數二百五十一口で一萬六千五百〇二圓二十四錢植田町小學校費緊縮しない、四年度豫算の一萬五千九百四十七圓四十九錢の外學事諸費が浮ぶわけである簡易保險契約口數は一千三百〇五口でその金額十七萬四千九百二十三圓十錢で植田、錦、山田、勿來、川部、渡邊の二町四ケ村本年度豫算總額合計が十七萬六千九百九十二圓に必敵されてゐる

覺醒せよ昭和の青年よ（三）
大和田豐吉

此間に我大日本帝國は五六十年前までは曾て東洋の一孤島たるに過ぎなかつたが

明治大帝の御力に依りて俄に勢力隆盛となり、日清戰爭を經て廢衰なる支那四百餘州に打ち克ち、日露戰爭に依りて、未曾て陸軍に敗戰を見ざる大陸軍國の露國に打ち勝ち日獨戰爭に依りて剽悍なる獨逸を取り挫きつゝ勢力隆々として雄々滿天下に競ふ樣になつた。何と目覺ましい喜ばしい現象ではあるまいか、今や英國ロンドンに於て全世界の大政治家等が集り如何にせば費用を節減して全世界の平和なる交際が持續する事を得べきかと頭腦を絞りて軍縮會議平和會議を約二ケ月間繼續して開會し居るに未だ何とも決定を見る事が出來ませぬ。申すまでもなく我が若槻首席全權大臣は適に希望をもたらして米國に廻り凡そ二ケ月前から米國の新聞記者地方の有志家並に政府の大官等と明々白々に我が國の主義主張を發表して米國人の同意を得んとし夫より又英國に渡りて精々堂々と自己の主張を發表し所謂七割主義と稱する主義主張を誰に向つても堂々と發表して居る有樣は何と痛快ではありませんか、是を既往米國の大統領ルーズベルト氏が曾て日露戰爭の結果中裁を申し込みし時我帝國からは講和全權大臣として小村壽太郎氏が往き又露國からは曾て大藏大臣としては名聲噴々たりしウイッテ氏が往きました。我國の全權公使等は宛ら屠所の羊の有樣で敢て意見の發表も爲さず如何なる主義主張にて露國の公使と談判すべきか、沈默して未其意見の何たるかを忖度するに由なき、露國の公使ウイッテ氏は自己の國より出發するや否や否未だ自己の居國を出發せざる以前より露國は未曾て戰爭に負けたのではない、此講和會議は米國大統領の好意で開會するもので未曾て我が露國は日本に負けたのではない。そだから此會議の結果日本に向つて到底一寸の土地も割讓する事は出來ないと一文も出す事は出來ぬ、償金も頑張り透し、彼は傲岸不屈我は柔弱迎合、遂に出來上りたる講和條約は樺太半分即ち北緯五十度以南を日本に割く事と滿州や關東半島に日本の宗主權を認むるに過ぎない條約を締結した、其結果が東京の燒打となりまして既に全權公使たる小村壽太郎氏は何時米國より歸國しましたか其歸國の報知さへも國民には知らさないで歸國したのであります

要するに我大日本帝國は僅に五六十年の間に世界の三大强國となつたのであります、日英米是であります米國とは花々たる太平洋を狹んで又英國とはユーラシヤ半島を狹んで而して又英國と米國とは大西洋を挾んで將に三角關係を結ばんとしつゝあるのであります、否三角關係とは男女間の交際に震ふ言葉でありますか日英米の三國は當に三角合衡か締結するか若しくは三角競爭に放任するか乘るか反るかゞ將來世界の大運命の別るゝ所であります。諸君將來乘るか反るかゞ疑問であります、何時何處に往きましても此競爭に又變に此戰爭に打ち勝たねばなりませぬ。諸君日本人の肉には血が流れて居ります日本人の魂には和魂があります日本人の手には日本刀があります。我が國三種の神器は　皇室の御寶物で　曾て　天皇陛下の　皇統繼承の御徵候でありますが其三種の神器は即ち八咫の鏡、草薙の劍、八尺瓊の曲玉、智仁勇は北畠親房公の著神皇正統記に明かに説いて居る處で、八咫の鏡は智草薙の劍は勇、八坂瓊の曲玉は仁で智仁勇は明かに神器に現はれて目前に示されたのであります、誰か言ふ言論で喋々喃々せんよりは形体に表はされて明かに示すに比かずと、孔子曰く智仁勇の三總は天下の達德なしと中庸に論せられて居るが是は言論で論せられてゐるのであります

（つゞく）

半死半生に毆つた 二人組の若者
四日間意識不明で
平署取調を了す

石城郡神谷村字下神谷富猪（二〇）同村泉崎本田秋夫（二〇）の兩名が通行人に重傷を負はせた嫌疑で平署に引致された事件は昨報の如くであるが取調のけつ果被害者は神谷村中神谷農志賀善吉（三八）と判明した事の内容は去る二十二日夜十時ごろ親類の御祝儀から一杯氣嫌で善吉が歸宅の途中草野村字神谷地内にさしかゝつた際富猪、秋夫の兩名が自轉車で來り善吉に突き當りこの酔つ拂ひ奴と罵倒し喧嘩となり兩名は道路の石を以て善吉の頭部を亂打し重傷を負はしたもので善吉は四日間意識不明で二十五日漸く意識回復したもので生命は取り止めるらしい

入山新坑内で 二名慘死
落盤の爲めに

石城郡湯本町入山炭礦第四坑長屋住坑夫蛭田新吉（四四）同礦後山夫梨原ふみ（三二）の兩名は同礦新坑に入坑採炭作業中二十五日午後一時頃突如炭層が落盤し兩名共下敷となつて即死した

平町役場 擴張
元商校を利用

平町では元商業學校々舍を如何に利用すべきかについて種々考究中であつたがよ〱同校舍に平職業紹介所を移轉させた外二設室を通じて町の會議室となしに水道課が移轉させて、技術、事務の兩室を區分すゝことゝなり近く工事に着手するが、同時に現在の町長室を助役室となし、町長室は會議室に移す答

石城の山火事

石城郡磐崎村地内湯ノ嶽山林内から二十四日午後三時頃發火し折からの強風に猛火は忽ち山林廿町歩を燒き拂ひ同七時半鎮火した原因損害目下平署で調査中

新版 ◁◁◁◁◁◁ 瀧櫻血筋の糸
十三年尋ねあぐんで
兄と妹の邂逅

石城郡湯本町入山炭礦坑夫佐藤一雄（三三）は二十四日夜土浦町に來り同町勾町勾バー事鈴木松之助方に女給をして働いてゐる實妹ゆき（二六）を前借金四十圓を支拂つて引取り岸坑に歸つたが一雄とゆき子は十三年前實父に死別し以來別々〱となつてゐたところこのほど土浦町で女給をしてゐることを知り前借金四十圓を稼ぎ足りぬところを坑夫仲間から二圓、三圓と借り集めて引取りに來たもの 十三年ぶりに相見ゆる兄妹はうれし涙にくれてゐた（土浦電話）

植田繭市場 組合總會
顧問囑托さる

植田繭市場販賣利用組合第一回總會は蠶糸課長小松產業主事の臨席され二十三日午前十時より植田町小學校に開催定款鑑組合長、酒井石城利用組合主事の經過報告等あり小松產業主事の產業組合設立要項に就て述べられ中食の後太田蠶糸課長の繭取引について多大の感動を與へ組合創立委員二町八ケ村にて三百餘名囑託書を交附せる外七名の顧問を委託しいよ〱市場設立が具體化された顧問氏名左の如し

金成通、赤坂毅一、大平睦四郎、安島重三郎、中村亦朔、高木茂惣、蛭田千代之助

◁◁◁◁◁◁◁◁◁◁ 首のない死体二個漂着
細紐でくゝり付けた男女の胴體
實は湯本藝妓と駆落ちの茂

石城郡錦村大字深之口地内鮫川川口に二十六日早朝胴体を緋チリメンの細紐でくゝり付け全身腐爛した年若い男女の首無し溺死体が漂着してゐたのを通行人が發見大騷ぎとなり植田署に急報したので齋藤部長現場に急行檢視の結果此の死体は去る一日同郡湯本町料理店備[illegible]屋から駆落行方を晦ました例の湯本町驛前藝籍店文華堂長男森茂（三三）と同町蔦屋の抱藝妓子事佐藤ウメ（一七）兩名の情死体で死後廿日以上を經過してゐる爲め首が腐らんとしたものである事判明したが當時一諸に駆落した同家の抱藝妓金太郎事手塚ウメ（二一）同町蔦盡曾社員綠川信夫（二二）兩名一組も同樣心中したのではないかと見られるので附近一帶に亘り死體の捜査中である

幼兒の死に 疑問
平署係官出張

石城郡神谷村大字中神谷志賀喜市孫順平（二）は二十四日午後二時ころ突然死亡し届出でたが平警察署では死因に不審を懷いて橋本部長出張檢視を遂げたが尙ほ死因不明で引續き取調中

石城牛乳總會

石城牛乳衞生組合臨時總會は二十六日午前十時から平署會議室に於て開催すると

腦病を悲觀 雇人の自殺
汽車に飛込む

石城郡上遠野村大字深山田金兵衞三男瀬谷喜作（三〇）は茨城縣助川町草履製造業渡邊某方に雇はれ中過般來腦病に罹り療養を爲してゐたが二十三日夜常磐線助川驛附近の線路に飛び込自殺をなした

暗礁に乘上げ 漁船大破
乘組員は無事

石城郡小名濱町字古港野崎武平所有漁船三十馬力は二十四日午後八時半頃船長小野政造方十餘名乘組み双葉郡新山町沼澤海岸に於て出漁中暗礁に乘り揚げ船体大破し乘組員一同は何れも激浪に呑まれ行方不明となつたので村民は救助船を出し救助につとめた結果全部無事なるを得たが船体は皆無である

平町水道補助
總額八萬八千圓を
きのふ議會に提出

內務省では追加豫算として平町水道費國庫補助を左の通り廿五日の特別議會に提案した

▲國庫補助總額八八、〇〇〇圓▲補助年度割昭和九年度より十四年度まで各一、〇〇〇圓、十五年度より廿年度まで各一〇、〇〇〇圓、廿一年度一八、〇〇〇圓

平第三校道路 紛紜經續
別に醜い運動

平町第三小學校の通學道路敷地買收問題は橋本萬右衞門氏の讓步でいよ〱解決と見られてゐた處、最近退料にからんだ醜運動起り原案を破棄して別に新道路をつくらんと主張する者出でまた〱危險狀態に陷た

石城の春蠶 掃立一割增

石城郡內の養蠶業者は春繭五十掛もあぶないと悲觀してゐるが、一方桑園は發育殊の外良好なのでこれも捨られず、從つて掃立も前年の一萬六千三百卅八枚より一割以上增加を見込まれる

ボロ自動車 整理
平署で斷行

平署管内の自動車業は最近いちじるしく發展し、連日百八十餘臺を運轉して縣内第一位を占むるに至つたが三萬マイル以上を走つたボロ車が多いため自動車事故はいよ〱激增するので平署では近くボロ車を一掃する方針である

小名の大數網 類燒は嘘
誤傳で迷惑

昨報二十四夕刻小名濱海岸埋立地の火災に際し小名濱大數網漁場事務所も類燒し莫大の損害を蒙つたかの如く一部新聞紙に傳へられてゐるが大數網事務所では火事となるや早速網その他の船具は勿論何一つ燒けてゐないので突飛な各方面からの見舞に當惑してゐると

時言

平町東部開拓の爲めの陳情書出る、事はよろしいが時が惡い

□

平と水道、起債認可をせずに補助案を上程

□

目錄だけで、實は財布が減らさない工面か、政府も如才がない

□

植田署員を走らした首なしの胴体二個、實はたのろけの拔け殼で御座いました

□

探しあぐんだ實の妹に十三年目で邂逅、何のことはない新版「瀧櫻血筋の糸」

內科診療
消化器病科　呼吸器科
小兒內科　一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊內科醫院
電話一六一番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅鐵
（久）釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は（久）の生命なり

乳酸菌飲料
ホシラクゲンの出現
絕對本社製類似品の追隨を許さず
胃腸の障害、下痢には偉効有り
朝の一杯は頭腦を明晰ならしめ
晝の一杯は活動の根源となり
夕の一杯は疲勞回復一家の和樂
來客へ獎むる一杯は歡樂の交響樂
大壜一本（四合入）一圓四拾錢
中壜一本（二合入）七拾九錢
試用ビン一本　拾錢
平町三丁目（郵便局降）
ホシチエーンストア
電話四二九

御料理
伊勢海老
本場
御献立
ラブスターフライ
ラブスターバリージャン
ラブスターアメリカン
ラブスターテルミドル
其他ソセージ各種
平町田町
一の井
電一六七

世界釀造元
銘酒
清水屋
各炭鑛御用達
石城小名濱町
小野晉平
電話六番